

# 秀次倶楽部



2008.8  
秀次倶楽部  
会報  
vol.13

発行：NPO法人 秀次倶楽部 滋賀県近江八幡市出町13-3 天八シガ1階 TEL(0748)32-1985/FAX(0748)32-3514(ラビットハウス内)/E-mail club@hidetugu.jp

## 歴史講演会開催

前号でお知らせしました「秀次講演会と琵琶コンサート」ですが、残念ながら金森さんがどうしても都合がつかなくなりました。琵琶コンサートはまたの機会にして、秀次公ゆかりの寺京都瑞泉寺のご住職であり、秀次公についても造詣が深い中川龍晃さんの講演会を開催します。内容は以下の通りです。(同封のチラシをご覧ください。)

日時 20年9月13日(土)  
午後2時開演(1時30分から受付)

場所 かわらミュージアム研修室  
テーマ 「秀次事件の謎に迫る！」

講師 中川龍晃さん(京都瑞泉寺住職)

講演が終わったあと夕方まで時間に、メンバーの皆さんで中川さんとの懇談の場を設けたいと思いますので、合わせてご参加下さい。また、当日は「八幡堀まつり」が開催されています。夜になりますと八幡堀界隈がロウソクの灯りにつまれていきますので、引き続きお楽しみ下さい。

※同封の連絡表にて当日の参加の有無をお知らせ下さい。

## 事業報告

### 体験イベント「西の湖と葦を学ぼう」

5月31日開催  
約50名参加

昨年引き続きびわこ揚水との協働事業を行いました。今年は外へ出た時には雨が降り出してきましたがそのまま続行しました。葦の葉を摘み取ったあと、近くの川で魚の話がありました。雨の降る中、最後まで魚つかみをする



子どももいました。そのあと、葦ペンを作った葦のハガキに書いたり、葦を使った額作りに懸命に取り組んでくれました。良い経験になったと思います。お昼ごはんは葦うどん、今年は生麺も試してもらえました。最後に施設を見学して一日を終えました。雨の降りやすい時期でもあり、葦の成長具合からも今後はもう少し早い時期に開催出来ればと思います。

## 全国金魚すくい大会近江八幡大会

7月5日開催 約130名参加

今年は京街道などの商店街が催される七夕まつりに合わせて、会場も観音山・願成就寺に移しての大会となりました。競技に加えてお昼から金魚すくいやその他ジュースなどの販売も行いました。

そのためか競技中も少しバタバタした感じになりました。たいへん暑い日になりました。一時夕立の心配もありましたが無事終えることが出来ました。今回は商店街からの委託金の収入も得られることもあり共催のかたちを取りましたが、やはり大会は単独で開催したほうが良いように思います。今後収入のことも含めて検討していきます。

結果は下記の通りです。



### 近江八幡大会入賞者

- 大人の部
  - 優勝 谷 美幸 22匹
  - 準優勝 田中貞子 13匹
  - 3位 高木 宏 13匹
- 子どもの部
  - 優勝 服部一希 19匹
  - 準優勝 宿院梨衣 11匹
  - 3位 辻 大輝 10匹

会員の皆さんには各事業にご参加、ご協力頂きましてありがとうございました。お疲れ様でした。また、葦の刈り取り作業につきましても、昨年並みの量を確保することが出来ました。作業して下さった皆さんありがとうございました。出来上がってしまった粉末は約半分を葦うどんに使います。残りの粉末については、昨年は今年の夏季に生麺の注文が続いてありましたのでほとんど無くなりそうですが、今年の方は見込みがありません。

## 会費納入について

今年度の会費が未納の方は、至急に事務局にお持ち下さるか、事業などの時に用意してきて頂くか、銀行振り込みにてお支払い下さいますようお願いいたします。

振込先  
滋賀中央信用金庫  
(店番) 180 (口座番) 0221141  
特定非営利活動法人秀次倶楽部  
理事長 高木茂子



## おほりばたひろば

会員の皆様からのおたよりを紹介いたします。

### 江戸時代の落書き

理事 山田 栄藏

先日滋賀県教育委員会の調査で、長命寺の古文書に江戸時代の落書きについて書かれています。長命寺の古文書に「菜書」と書かれています。ある時期ひどい落書きに悩まされたことが6通の反省文「菜書証文」からわかります。当時の落書きではなく「菜書」と書いたようです。反省文では、長命寺に謝ったあと「これ以後道中でも落書きいたしません」という誓いを文書にして寺に差し出したこと。このように、口頭だけでは済ませず、証文まで提出させられていました。先日モイタリアの大聖堂や錦帯橋などの文化財への落書きが大きな社会問題となりました。またカンボジアのアンコールワットに日本人が残した落書きは有名です。旅の恥は書き捨てでは済まされません。モラルを守って楽しい旅をしましょう。

